

第17回 建築人賞 発表

主催：公益社団法人大阪府建築士会

審査総評

建築人賞の審査を今回も務めさせてもらった。これが5回目である。審査のプロセスは、これまでと同じである。『建築人』の Gallery 欄に掲載された作品が候補となる。2024 年の 1 月号から 12 月号までを合わせて、一般部門は 24 作品、住宅部門は 9 作品が候補となった。一般部門は、民間事務所、飲食店、ショールーム、工場、学校、保育園、図書館、病院、福祉施設、集合住宅など、用途も規模も異なるバリエーション豊かな建築群がリストアップされた。住宅部門も、都市住宅から郊外の邸宅まで様々だ。

その中からまずは、誌面を見て 1 次審査を行い、一般部門 10 作品、住宅部門 5 作品に絞った。続いて各作品の設計者から、図面、写真、設計コンセプトなどをまとめた追加資料を出してもらい、それをもとに 2 次審査を行う。この段階で一般部門は 6 作品に絞られ、住宅部門は対象作が少なかったため、5 作品をそのまま通した。この段階で残った作品が、各部門の授賞対象作となる。その後、一般部門については、建築主や設計者の協力を得て現地審査を実施した。住宅部門については、最後まで書類のみによる選考である。

以上のような流れを経て、一般部門と住宅部門、それぞれについて、建築人賞、建築人賞新人賞、建築人賞奨励賞、建築人賞佳作の各賞を決定した。

一般部門では現地審査で圧倒的な印象だったのが、「茨木市文化・子育て複合施設 おにクル」だった。平日にもかかわ

らず、子供からお年寄りまで様々な年齢層の人が数多く訪れ、建物の隅々まで使い倒していたからだ。公共施設の整備において、機能が異なるものをひとつにまとめたり、商業施設や集合住宅と組み合わせたりという合築の事例が全国で増えているが、合築によって相乗効果を生み出せたと言える事例は、それほど多くないのではないかと。この公共施設では人や情報と偶然に出会い、新たな発見や創造へと結びつく契機が、建築の設計によって実現している。これを高く評価して、建築人賞を与えることとする。

大学の校舎はいくつか候補に挙がっていたが、その中では「大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス 工学系学舎」が特に優れていた。交流の場となる共有空間を〈ナカモズテラス〉とネーミングし、発注者側とその意義を共有して、キャンパスのあり方への積極的な提案を実らせたところが素晴らしい。設計担当者が新人賞の対象であったので、これを建築人賞新人賞とした。

奨励賞には「川西市の共同住宅」と「大成建設関西支店ビル グリーンリニューアル」を選んだ。前者は中庭を共有することで共に住むことの意味を生む一方、各住戸が多方向に外へとつながって戸建てのような感覚も抱かせる。新しい共同住宅のあり方を提示したもの。後者は、ビル改修で設備や内外装を変えるだけでなく、内部空間を外部化したインナーテラスまで設けている。オフィス・リニューアルの可能性を広げた事例で意義が大きい。

佳作に選んだ「metabolab」と「マクスエル『クセがあるスタジオ』」は、ともに小規模な民間の施設ながら、敷地の環境やプロジェクトの条件から、そこでしかできないことに挑み、達成している点を称えたい。

住宅部門では、建築人賞に「紫竹の家」を選んだ。細長い敷地に通り庭を設けて、玄関に付属する接客空間を置いた構成は、郊外型町屋ともいえるべき新しい住居形式のモデルとも受け取れる。その点を高く評価した。

奨励賞には「けやき通りの家」と「ギャラリーのある家」を選出した。前者は吹き抜けに茶室を浮かべることで、都市住宅のリビングルームを立体的な庭空間の一部に変えることに成功している。後者は、戸建て住宅でありながら、街とのつながりが持てる設計になっている。こういう家が増えれば、人の息吹が感じられる楽しい住宅地になるのではないかと。

佳作は「Genius Loci 一場の力」と「番町の家」の 2 作品。前者は高低差のある敷地を生かした点、後者は洗練された和風住宅の素晴らしさを味わえたところを評価して授賞とした。

建築人賞の審査は今回が最後となる。この賞の審査を担当しなければ出会えなかった建築も数多い。そうしたもののなかから優れた作品を探し出し、光を当てることができれば、賞の意味も大きくなる。そう信じて取り組んできた。少しでも貢献できていたら嬉しい。5 年間ありがとうございました。



建築人賞新人賞記念盾

グラスアーティスト 佐久間 靖 作



建築人賞記念盾



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業
日経BP社入社『日経アーキテクチャ』編集部勤務(～1999年)
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年 フリックスタジオ共同主宰(～2020年)
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰
2023年～ 早稲田大学芸術学校非常勤講師

建築人賞 茨木市文化・子育て複合施設 おにクル

設 計／伊東豊雄建築設計事務所・竹中工務店共同企業体
施 工／竹中工務店

建築位置／大阪府茨木市 敷地面積／10,500.42㎡
竣工年月／2023 年 10 月 建築面積／4,329.8㎡
用 途／公共複合施設 延床面積／19,715.22㎡
(市民センター・劇場・ 写 真／ナカサアンドパートナーズ
図書館・診療所)
構造・規模／RC 造一部 S 造
基礎免震、地上 9 階

【選評】
大ホール、図書館、子育て支援施設、プラネタリウムなど、異なる機能を載せたフラットスラブが、公園側へと張り出し、全体が「立体的な公園」として立ち上がる。内部は直径 12m の「縦の道」が上下に貫き、そこにエスカレーターが交差しながら架かる。フロアを通り抜けながら、来館者は多様な活動に偶然出会う。分散配置された図書館の書架や、大ホール・ホワイエの可動カーテンによる仕切りも、機能空間の複合化に貢献している。



建築人賞 紫竹の家

設 計／プリヤデザイン一級建築士事務所
施 工／かわな工業

建築位置／京都市北区 敷地面積／262.26㎡
竣工年月／2023 年 8 月 建築面積／143.18㎡
用 途／専用住宅 延床面積／163.34㎡
構造・規模／木造 写 真／松村芳治
2 階建

【選評】
京都市内の閑静な住宅街に位置する。間口が 9.3m で、奥行きが 28m という長い敷地を細切りに分け、3 分の 1 幅を通り庭とした。玄関脇に設けられたギャラリーは、客を迎える場であるとともに、家族が趣味を楽しむ多目的な空間。深山幽谷を表現したという庭は、ギャラリー、居間、寝室に囲まれ、内外が一体化する。屋根は平入りで前面道路に低く延びる一方、中央の階段部では高い天井を確保して、余裕のある内部空間を実現している。



建築人賞新人賞 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス 工学系学舎

設 計／KAJIMA DESIGN (基本設計：東畑建築事務所)
施 工／鹿島建設

建築位置／大阪府堺市 敷地面積／465,245.91㎡
竣工年月／2024 年 3 月 建築面積／2,570.05㎡
用 途／大学 延床面積／16,270.28㎡
構造・規模／RC造、一部 S 造 写 真／エスエス大阪支店
地上 7 階 秋田広樹

【選評】
工学系の 3 学科を集約した工学新棟と、CNC 工作機械などを備えてものづくりを実践する新センター棟を同時に整備。「ナカモズテラス」と名付けた共創の場を、それぞれに実現した。工学新棟ではインナーテラスとアウトターテラスをずらしながら配置し、ファサードに変化を付けるとともに、フロア間の視覚的つながりを生み出している。新センター棟では、キャンパスの目抜き通りに面してテラスを設け、内部の活動を外へ行き交う人へも伝える。



建築人賞奨励賞

大成建設関西支店ビルグリーンリニューアル

設 計／大成建設関西支店
一級建築士事務所

施 工／大成建設関西支店

建築位置／大阪市中央区

竣工年月／2023 年 2 月

用 途／事務所

構造・規模／RC + S 造

地上 9 階、地下 2 階

敷地面積／1,956.60㎡

建築面積／1,427.28㎡

延床面積／13,651.55㎡



写真／エスエス大阪支店 秋田広樹

【選評】30 年前に竣工した自社ビルを、使いながら改修。シースルー太陽光発電パネルや緑化ユニットを組み合わせた水平ルーバー、木製ブラインドを内蔵した排気活用型窓システム、薄型放射空調ダクトなどにより、ZEB 化を達成している。また建物の隅部には減築により、都市の自然を感じて気分をリフレッシュさせ、知的生産を高めるインナーテラスも設けた。建物の環境性能を高めると同時に、人の働き方も向上させるオフィス・リニューアルだ。

建築人賞奨励賞 けやき通りの家

設 計／大西憲司設計工房

施 工／ヒロタ建設

建築位置／堺市堺区

竣工年月／2023 年 12 月

用 途／専用住宅

構造・規模／RC 造

3 階建

敷地面積／148.77㎡

建築面積／88.58㎡

延床面積／215.54㎡



写真／福澤昭嘉

【選評】建物が密集して立つ堺市の住宅街に位置する都市住宅。鉄筋コンクリート造の 3 階建で、中庭を囲んで諸室が向かい合う平面の構成。2 階リビングの吹き抜け上部には、鉄骨造のボックスが浮かんでいる。3 階のグレーチング製ブリッジを通してアプローチすると、それは黒皮の鉄板と繊細な木の造作が面白い対比を見せる茶室である。3 階のデッキテラスから螺旋階段を上ると屋上庭園へ。超高層ビル街や仁徳天皇陵を見晴らす眺望が味わえる。

●目的

公益社団法人大阪府建築士会では会報誌「建築人」を毎月発行しており、2025 年 4 月には第 730 号を数えました。本会の会員にとって重要な情報提供を行うとともに、建築作品発表の機会を設け、建築技術の普及や会員の相互研鑽に寄与することを目指しています。

「建築人賞」は「建築人」の GALLERY 頁に掲載された全作品の中から特に機能性、社会性、デザイン性、先進性などにおいて優れたものを顕彰することで、建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的とし、「建築人」のプレゼンスをより高めていくことを意図して創設された賞です。

●候補作品と審査経過

会誌「建築人」2024 年 1 月から 12 月の Gallery に掲載された建築作品 33 点の中から、磯審査委員長に選定頂きました。

一昨年創設した 40 歳以下の若い建築士の方を対象とする『新人賞』は、3 回目を迎え、一般部門で最終審査に 2 作品の候補が残りました。

一般部門は、本年も共同住宅から教育施設、文化複合施設、オフィス、展示ラボまで多様な建物用途があり、どれもが発注者の建物への明確な拘りと設計者がそれに応えようとする強い意志が感じられました。住宅部門は現地審査を行わず、全作品書類審査となりました。

『建築人賞』は設計者だけでなく、建築主や施工者も表彰の対象となります。建築人賞を通じて、多くの方々に建築やまちに魅力と価値を感じて頂き、建築文化の発展と人々の快適な暮らし創りに繋がることを祈念しています。

最後になりましたが、磯先生は今回の審査を持って審査委員長を退任されます。毎年、現地審査に同行させて頂き、設計者への質問内容を伺っていると、建築に対する新たな視点に気付かされました。5 年間審査委員長を務めて頂き、ありがとうございました。御礼申し上げます。

2025 年は新たに審査委員長をお迎えし、建築人賞の選奨を行って頂きます。会員の皆さまには、本年も「建築人」の Gallery に多くの作品を掲載頂きますよう、お願い致します。

建築情報委員会委員長 松下典央

建築人賞奨励賞

川西市の共同住宅

設 計／藤本高志建築設計事務所

施 工／吉本建設

建築位置／兵庫県川西市

竣工年月／2024 年 6 月

用 途／共同住宅

構造・規模／W 造（在来工法）

地上 2 階

敷地面積／437.28㎡

建築面積／223.59㎡

延床面積／409.07㎡



写真／高橋菜生写真事務所

【選評】6 世帯からなる共同住宅。すぐわきを JR 福知山線が走り、上を伊丹空港の離陸ルートが通る。周辺は工場と住宅が混じり合う環境。それを意識して、全体が閉じた輪を形成するような配置を取り、各住戸へは中庭を介してアクセスする。2 階建てロフト付きの各住戸は、それぞれにまた中庭を備える。いわば、コートハウスが入れ子状になった構成だ。縦長の内部空間は、隅々まで光と風が行き渡り、高密度ながら快適な暮らしを可能にしている。

建築人賞奨励賞 ギャラリーのある家

設 計／二井清治建築研究所

施 工／阿佐建築工務

建築位置／大阪府豊中市

竣工年月／2024 年 3 月

用 途／専用住宅

構造・規模／木造

地上 2 階

敷地面積／103.40㎡

建築面積／61.64㎡

延床面積／94.63㎡



写真／母倉知樹

【選評】玄関脇で客を招き入れるギャラリーから、住まい手の日常生活の場となる食堂、そして書斎・浴室へと空間の質が変わっていく。パブリックからプライベートへの段階的な配列を、明快に反映させたプランだ。庭はギャラリーや食堂と視覚的に一体化し、日中は前面道路側の扉も開放。塀も半透明の素材を用いることにより、外に対して閉じない構えとしている。高齢者が閉じこもることなく、人や街とのつながりを保ちながら暮らせる家である。

建築人賞佳作 metalab

設計／奥和田健建築設計事務所
施工／カタヤマ建築工房

建築位置／和歌山県かつらぎ町
竣工年月／2023 年 4 月
用途／展示施設
構造・規模／木造 1 階建
敷地面積／170.18㎡
建築面積／66.15㎡
延床面積／59.21㎡



写真／山田圭司郎 YFT

【選評】金属加工業を営む建築主が、工場に隣接して建設した小さな展示施設。内部は製品のショールームであるとともに、地域社会とのつながりを意識した展示イベントのスペースになっている。外壁と屋根を覆っているのはステンレス材。建築主が支給したもので、加工と仕上げは建築主と設計者が共同で行なっている。屋根の形状は周囲の山並みと呼応。ステンレスの鏡面は、周囲の梅林や青空を鈍く映して、建物を風景の中に溶け込ませている。

建築人賞佳作 Genius Loci ー場の力ー

設計／マニエラ建築設計事務所
施工／ケイ・アイ・エス

建築位置／兵庫県芦屋市
竣工年月／2023 年 11 月
用途／専用住宅
構造・規模／木造＋RC 造
地下 1 階、地上 2 階
敷地面積／954.95㎡
建築面積／243.33㎡
延床面積／771.93㎡



写真／下村写真事務所

【選評】六甲山麓の斜面地で、敷地内には高低差が8mもある。そうした条件を最大限に活かした設計が図られた。阪神間に広がる都市や、その向こうの生駒山まで見渡せるという、2階のリビング・ダイニング・キッチンからの絶景が見せ場だが、半地下レベルの和室から見た庭や、内装の石張りが外まで広がる浴室からの眺めも面白い。外装は格式を感じさせる石張り。敷地から出た御影石の組み石による外構で、地域の環境になじませている。

建築人賞佳作 マクセル「クセがあるスタジオ」

設計／kvalito
施工／木村工務店

建築位置／京都府大山崎町
竣工年月／2024 年 3 月
用途／展示場
構造・規模／木造
地上 1 階
敷地面積／23,310.00㎡
建築面積／120.91㎡
延床面積／91.00㎡



写真／足袋井竜也

【選評】アートとテクノロジーの融合によるイノベーションの創出拠点の企業サイトに建てられた展示施設。若手クリエイターによる展示や、トークイベント、ワークショップなどが開催される。空間的可変性を高めるため、「九間」のホールの周りを、透過式可動パネルを介して回廊が囲むプランを採用。外側に張られたワイヤーは、四隅で庇を吊っているほか、主には緑化の機能を担う。同時に、外観に動きを感じさせる要素としても効いている。

建築人賞佳作 番町の家

設計／木原千利設計工房
施工／藤木工務店 四国支店

建築位置／香川県高松市
竣工年月／2021 年 6 月
用途／専用住宅
構造・規模／木造 2 階
敷地面積／430.35㎡
延床面積／296.55㎡



写真／松村芳治

【選評】大きな瓦屋根と壁で形成される前面道路側からの外観は、プライバシーを守るとともに、品のある和風住宅の趣を見せる。玄関前の露地とつながる客間には和庭が、玄関ホールとリビング・ダイニングには中庭が、洋室と寝室にはデッキ庭が、浴室には光庭がそれぞれに接する。広さも植栽の有無も異なる多様な庭が、部屋ごとに楽しめるようになっている。建具との組み合わせによる開口部のつくり方も巧みで、どこに目をやっても絵になる。

実施要項及び経過

- 対象作品 会報誌建築人 2024 年 1 月号～2024 年 12 月号「GALLERY」掲載作品 33 点
- 審査 第一次審査（33 点から 15 点選出） 第二次審査（11 点選出）
- 表彰式 2025 年度定時総会・式典 席上 日時／2025 年 5 月 28 日(水) 会場／KKR ホテル大阪 3 階
- 入賞作品

建築人賞

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル	2024 年 11 月号掲載
紫竹の家	2024 年 1 月号掲載
建築人賞新人賞	
大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス 工学系学舎	2024 年 7 月号掲載
建築人賞奨励賞	
大成建設関西支店ビル グリーンリニューアル	2024 年 4 月号掲載
川西市の共同住宅	2024 年 10 月号掲載
けやき通りの家	2024 年 2 月号掲載
ギャラリーのある家	2024 年 7 月号掲載

建築人賞佳作

metalab	2024 年 4 月号掲載
マクセル「クセがあるスタジオ」	2024 年 9 月号掲載
Genius Loci ー場の力ー	2024 年 3 月号掲載
番町の家	2024 年 8 月号掲載

建築人賞	設計者に賞状および記念盾を授与、建築主・施工者に賞状を授与
建築人賞新人賞	設計者に賞状および記念盾を授与、建築主・施工者に賞状を授与
建築人賞奨励賞	建築主・設計者・施工者に賞状を授与
建築人賞佳作	建築主・設計者・施工者に賞状を授与